

## 2 「大学と保護者との連絡会」への援助

地区会場費等へ 4,533,521円 の援助

### 全体総括

- 開催期間 2021年9月4日～10月2日
- 開催地 全国20会場
- 参加者 保護者合計 学部1,206世帯(1,332名)

全国各地区会場(17会場) 192世帯(208名)  
 東京・横浜会場(3会場) 1,014世帯(1,071名)  
 教職員 36名(全国各地区への派遣者数)

### 4. 今年度の結果と特徴

- ①昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止の対策として1世帯1名での参加にご協力いただいた。学部全体の出席世帯数は1,206世帯と前年比9.5%減となり、在籍者数に対する出席率は18.1%と昨年より1.2%減であった。学年別では、1年生の保護者が最も多く371世帯で前年比23.3%減、2年生が345世帯で13.1%増、3年生が300世帯で16.2%減、4年生が190世帯で2.7%増であった。
- ②大会会場は、世田谷キャンパスでは前年比6.7%減で666世帯の方が出席され、横浜キャンパスでは、前年比1.5%減の203世帯、等々力キャンパスでは、前年比6.5%減の145世帯の出席者となった。
- ③地区会場については、昨年度と同じ17会場を設定・実施し、今年の出席世帯数は新型コロナウイルス感染症第5波の影響もあり、前年比25.3%減の192世帯となった。
- ④大会会場について、世田谷キャンパスでは学部別説明会及び学科別説明会を中止し、学年別説明・懇談会のみ実施した。懇談では、TAPの実施、対面授業の再開、大学院進学や研究室配属、就職活動、インターンシップ、友達作り等、様々な話題が寄せられ、個別面談も多数あった。
- ⑤地区会場でも、進級や大学院進学、Uターン就職、TAP、課外活動等について質問があった。また、東京都市大学校友会の地方支部の役員に出席願いの、各地区における卒業生の就職状況や活躍状況の説明があり、会場によっては県の労働雇用課の方にご出席いただいた。



宇都宮会場

詳細については、後援会誌TCU-COM65号(2022年2月刊行)をご覧ください。

### 大会会場学科別出席世帯数

学 科	2021	2020	学 科	2021	2020
機械工学科	76	88	情報通信工学科	10	32
機械システム工学科	77	91	知能情報(経営システム)工学科	61	73
電気電子通信(電気電子)工学科	91	70	環境創生学科	49	40
医用工学科	34	33	環境経営システム(環境マネジメント)学科	44	58
応用(エネルギー)化学科	43	36	社会メディア学科	50	48
原子力安全工学科	34	37	情報システム学科	60	60
自然科学科	40	46	都市生活学科	95	104
建築学科	76	68	児童学科	50	51
都市工学科	67	69	合 計	1,014	1,075
情報科学科	57	71			

## 3 大学行事への協力援助

	大 学 行 事 名	援 助 対 象	金額(円)
1	体育祭(5月8日～9日) ※中止	体育会	0
2	横浜祭(6月5日～6日) ※援助なし	横浜祭実行委員会	0
3	等々力祭(11月6日～7日) ※援助なし	等々力祭実行委員会	0
4	世田谷祭(11月6日～7日)	世田谷祭実行委員会	900,000
合 計			900,000

## 4 学生厚生援助

	援 助 内 容	金額(円)
1	朝活応援企画100円朝食 ※1	1,262,320
2	学食利用促進企画(4回分) ※2	3,004,533
3	学生モバイルアプリ保守費(年間)	1,000,000
合 計		5,266,853

※1 410円相当の朝食に対して、後援会より約100円×喫食数を補助し(大学が約210円を補助)、3キャンパス合計12,216食を提供し、総額の1/3を援助した。

※2



4月、12月のイベントポスター

学食利用促進企画(クッキー)

## 5 会誌の発行

	会 誌 号	金額(円)
1	TCU-COM64号刊行(8月中旬全会員へ送付)	921,800
2	TCU-COM65号刊行(2月上旬全会員へ送付)	2,152,700
合 計		3,074,500



TCU-COM no.64, no.65